

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	国民文化祭		担当部局庁	文化庁		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	昭和61年度		担当課室	芸術文化課		芸術文化課長 山崎 秀保	
会計区分	一般会計		施策名	X II - 1 芸術文化の振興			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	文化芸術振興基本法8条、12条		関係する計画、通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針) (平成23年2月8日閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国民一般の各種の文化活動を全国的な規模で発表する場を提供すること等により、文化活動への参加の意欲を喚起し、新しい芸能、文化の創造を促し、併せて地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活のより一層の充実に資することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	全国各地で国民が行っている各種の文化活動を、全国規模で発表する機会として、年度ごとに都道府県単位で行う、国民文化祭を開催。文化活動を行う、各地の国民が競演することにより、国民間の幅広い交流を促進し、地域の文化活動の活性化を図る。国民文化祭を契機として、開催の前後にわたる長いスパンでの、芸術文化活動の発展、充実へとつなげる。平成22年度は第25回国民文化祭を岡山県にて開催(10/30~11/7)。現在第29回大会(26年度)まで、開催県の内定をしているところである。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		当初予算	259	241	242	242	242
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
	計	259	241	242	242	242	
	執行額	214	212	230			
執行率(%)	83.3%	88.3%	95.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (45年度)
	全都道府県での開催。		成果実績	23	24	25	47
			達成度	%	48.9	51.1	53.2
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	開催年度ごとの参加出演者数の実績数		活動実績 (当初見込み)	人	41,647	43,729	28,305
単位当たりコスト	(5,771円/出演者数)		算出根拠	出演者1人あたりコスト=3ヶ年度執行額/3ヶ年度出演者数			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	諸謝金等	1	1				
	委員等旅費	1	1				
	芸術祭等運営費	240	240				
	計	242	242				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>各種の文化芸術活動を、全国的な規模で発表する場を、国が提供することは、各地域の文化芸術活動の状況を鑑みて、必要なことであり、本事業は一定の成果を挙げていると思われる。</p> <p>都道府県の文化予算が縮減される中、より効果的に事業を行えるよう、一層の事業の充実を図るものである。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		<p>1. 事業評価の観点：この事業は、「国民文化祭」を実施するものであり、長期継続事業の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：本事業は平成26年度まで開催地が決まっている事情に鑑み、当面は、現在の事業内容を引き続き維持することとするが、昭和61年度から実施していること、事業開催県の負担が大きい等の問題や昨年6月の公開プロセスにおいてイベント的な事業に対し厳しい指摘がなされていることを踏まえ、今後、必要性について精査を行った上で、廃止を含めた抜本的な見直しを検討すべきである。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

諸謝金 0.1百万円
 職員旅費 0.3百万円
 委員等旅費 0.6百万円
 芸術祭等運営費 0.4百万円

を含む

文化庁
230百万円

全国各地で国民が行っている各種の文化活動を全国規模で発表し、競演、交流する場を提供

【支出委任】

A. 都道府県
全3府県
228百万円

国民文化祭実施に係る支出

【随意契約・請負】

B. 第25回国民文化祭
岡山県実行委員会
203百万円

【随意契約・請負】

C. 第26回国民文化祭
京都府実行委員会
23百万円

【随意契約・請負】

D. 第28回国民文化祭
山梨県実行委員会
2百万円

国民文化祭の中心事業となる開閉会式、生活文化総合フェスティバルの実施や海外出演団体の招聘など

※ 庁費等執行分

※ 庁費等執行分

※ 庁費等執行分

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない

A. 岡山県			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	国民文化祭実施に係る経費	203			
計		203	計		0
B. 第25回国民文化祭岡山県実行委員会			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
運営経費	開会式・オープニングフェスティバル運営経費	167			
旅費	海外参加団体招聘旅費等	22			
運営経費	閉会式・フィナーレ運営経費	8			
旅費	海外参加団体派遣旅費等	6			
計		203	計		0
C. 第26回国民文化祭京都府実行委員会			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
広報経費	開催広報グッズ、イベント等	23			
計		23	計		0
D. 第28回国民文化祭山梨県実行委員会			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
広報経費	開催広報グッズ作成	2			
計		2	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	岡山県	平成22年度国民文化祭の中心事業となる開閉会式、生活文化総合フェスティバルの実施や海外出演団体の招聘など	203	—	—
2	京都府	平成23年度国民文化祭の開催準備、広報、プレイベント実施	23	—	—
3	山梨県	平成25年度国民文化祭の開催準備、広報	2	—	—

※支出委任であるため「入札者数」「落札率」は「—」としている

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	第25回国民文化祭岡山県実行委員会	開閉会式、パレード会場設営等経費、国際交流事業(派遣、招聘)経費	203	随意契約	100

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	第26回国民文化祭京都府実行委員会	開催広報グッズ作製、プレイベント経費	23	随意契約	100

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	第28回国民文化祭山梨県実行委員会	開催広報グッズ作製	2	随意契約	100